

# 会 議 議 事 録

## 1. 日時等

|     |                           |
|-----|---------------------------|
| 日時  | 令和4年12月19日（月） 14:00～15:30 |
| 場所  | 日之影町民ホール                  |
| 会議名 | 令和4年度第3回日之影町地域公共交通会議      |

## 2. 議事

○事務局より以下の事項について説明を行い、その内容について質疑を行った。

1. 解決すべき課題
2. 基本方針等
  - (1) 基本方針
  - (2) 計画の目標（案）
  - (3) 取り組みの方向性（案）
  - (4) 施策の概要（案）

**甲斐会長** 解決すべき課題について、台風14号による被害への対応が追記されているが、本町の地形を考えると旧道だけではなくどこでも起きうることであるため、旧道に限定せず、もう少し大きな括りで記載してはどうか。

**建設技術研究所** 今回の台風以前にも災害によりコミュニティバスが運行できない区間が発生していたような状況もあるため、災害への柔軟な対応、といった形で少し幅広に課題として再整理したい。

**豊丸委員** 路線バスの旧道経由がバイパス経由で運行せざるを得ない状況となっており、町内にお住いの方々にご負担をおかけしている。バス利用の際にバイパスまで登ってくるのが大変だといったご意見も頂戴しているため、当社としても認識を共有しながら協力できることを考えていきたい。

**丹波委員** 元気村にバス停を追加、との記載があるが、これは簡単に実現できることなのか。買い物や食事などができる施設であり、良い提案だと感じている。

**建設技術研究所** 現地の道路状況を見ると、施設側は駐車場などもあり比較的空間に余裕があるが、逆側についてはバスカットなども設置されていない。通行する車両の走行速度が高い区間でもあるため、事前に交通管理者・道路管理者としっかりと協議・調整する必要がある。また、施設との調整も必要になるため、バス停設置にはある程度の期間を要するものと認識している。

**美吉委員** 青雲橋のバス停と道の駅が離れているのは、道の駅が後から整備されたため、道路管理者や警察などとの協議のなかで別々になってしまっているのではないかと思う。買い物もできる、トイレもある、待ち合わせもできる施設であるため、一つ一つ解決しながらバス停と一緒にできると良いのではないかと考えている。

**事務局** 警察を含めた関係団体との調整や、道の駅については駐車場が狭いという問題もあ

り、また、利用者の安全性なども考える必要があるため、現時点では町としてはバス停と道の駅の一体化といったことまでは想定していないところではある。

ただし、本会議でのご意見を踏まえて今後できることは検討していきたいと考えている。

**甲斐会長** 説明があった内容については、こういう方法もある、という提案であり、こうなると決まっているものではないため、お含みおきいただきたい。

**工藤委員** 資料に関してではないが、会議について今後の計画策定に向けて会議を開催しているところだが、年度内にあと何回程度の会議開催を想定しているのか。

**事務局** 本日の会議を含めて、今回の会議で概ね了承いただくのが前提となるが、それを踏まえて素案を作成して次回会議に諮り、そこで了承いただければ現時点の想定では公民館長あてに素案についてご案内をして意見を公募、その後、意見があれば修正を加えたのちにまた会議にお諮りしたい。このため今回を除いてあと2回の会議開催を想定している。

**工藤委員** 前回の出た意見にかなり寄り添った内容になっていると感じているが、これを公民館長に示して理解できるか懸念があり、もう少し分かりやすいものが示せると良いのではないかと思う。

一つ一つかみ砕けば理解できるが、全体に目を通して理解するのは難しいのではないかと感じている。

**甲斐会長** 後ほど計画とりまとめのイメージ（見本）をお示ししたいが、最終的には計画書だけではなく1~2ページで計画の概要が住民にも分かるような資料の作成も必要であると考えている。

今回大筋の話が煮詰まったら計画書の素案を作成、それに基づいて次回もう一度整理をしてもらい、その後に案という形で住民にお諮りすることになる。

**建設技術研究所** 今の時点では方向性ということで大枠をお示ししているため、まだ具体的にイメージしていただくのが難しい状況ではないかと思うが、次回お出しする素案では、10つあげている施策それぞれについて、1~3ページにわたって施策の必要性や内容、クリアすべき課題、スケジュールまで含めてそれぞれ記載していく形になる。このためボリュームとしてはかなり多くなるため、全部目を通していただくのは厳しいかもしれないが、読んでいただければどのようなことをやっていくのかご理解いただけるような作り込みをしていきたいと考えている。

また、会長からご指摘があったとおり、概要版という形で全体のイメージを分かりやすくご提示する資料の作成も考えているところである。

**甲斐会長** 意見聴取の際には、計画や概要版だけを示すのではなく、こういった経緯でまとめた、といった文章もつけて回すことを考えてもらいたい。

**椎葉委員** 新たな運行形態の導入ということで区域運行との記載があり、現在運行している路線定期を区域運行に変えていくという方向性が示されている。

詳細はこれからだと思うが、どのような形で運行する予定なのか、また、町外の方の利用も可能にして交流人口を増やすことで地域の交通を守っていくということも視野に入れているようだが、それだけの需要に対応するためには車両等も必要になるため、この地区においてなじむのかどうか、考えをお聞かせいただきたい。

- 事務局** 町外の利用者について、残念ながら現状では町外の方も利用はできるものの利用しやすいものになっていない。どの程度ニーズがあるのか現状では把握できていないが、区域運行を行いながら車両のサイズ感などは検討すべきと考えている。現時点で想定しているのは集落線の区域運行への移行である。利用者が最大でも1.6人/便という現状があるため、集落線の大部分については経路を定めない区域運行とし、目的地としては病院や商業施設などを設定することを想定している。町内全域を区域として設定し、予約に応じて町の中心部から迎えに行くような形になると考えている。
- 国村委員** 区域運行ということで、予約型で迎えに行くような話が出たが、いわゆるタクシー事業というものがあり、予約に応じて個別の移動に対応するのがまさにタクシー事業に当たる。施策として公共交通でそういった需要に対応した場合、地元のタクシー事業者の仕事がなくなってしまう懸念がある。
- 建設技術研究所** ご指摘の通りで、九州管内でもAIを用いた予約型乗合交通の導入が広がっており、県内においても実証運行等がはじまっているが、サービス水準なども調整しながら、乗用タクシーや路線バスとの競合ができる限り発生しないように、また、「乗合」で効率よく運ぶことができるような工夫を考えていきたい。
- 山本委員** 地元でタクシー会社を経営しているが、コミュニティバスが今とは違う形になった時にどのようになるのか、タクシー会社としてやっていけるのか、気になるところではある。
- 甲斐会長** いずれにしてもコミュニティバスだけでは対応できない部分というのはあるため、やはりタクシー事業者の方には今後も当然続けていただきたいし、そのためのサポートなども検討していく必要があると考えている。事務局の方でも十分に留意して検討を進めてもらいたい。
- 豊丸委員** 事業者の立場からすると、特に人口の少ない地域では労働力を提供するということが難しくなってきた。サービスとしては色々考えていくことは可能だが、それを担う人材の確保が難しい部分もあるため、新しい人材を育成するような環境も必要になって来るのではないかと考えている。
- 甲斐会長** 交通に限らず人材の確保というのは問題・課題になっているため、それも含めて考えていく必要がある。
- 工藤委員** 利用者等だけではなく施設なども広く巻き込む、といった記載があるが、人材不足といったご意見を考えると少し矛盾するところがあるのではないかと。
- 建設技術研究所** 新たに追加で労力をかけるようなイメージではなく、例えば森林セラピーのガイドを申し込むときに、あわせて乗合タクシーの予約ができる、というような形で、移動という部分でクローズせずに色々なところと連携していくようなことを想定している。
- イベントや地域活動などについても、公共交通で行ける場所・時間で実施することで社会参加機会の増加や移動手段の確保につながる部分もあるため、そういったところも含めて様々なことを工夫しながら連動させていくようなことができないかと考えている。
- 大井委員** 例えば、隣の高千穂や延岡に通えるようなまちにする、あるいは観光に来た方も青雲

橋の道の駅まで来てもらえれば町のなかは移動できる、といったような、日之影町の交通に対する全体としての大きな方向性・目指していく姿といったものをもう少し分かりやすく示すことができるとよいのではないかと。

**建設技術研究所** 現時点でお示ししている基本方針が、やや「各論」的な内容になっているため、大きな方向性・目指す姿が分かりにくくなっているのではないかと感じる。課題と基本方針の間にもう少し大枠としての「基本理念」のようなものを追加するとご指摘に対応できるのではないかと考えられるため、全体の構成を再検討したい。

※計画の目標、取り組みの方向性、施策の概要について、概ね案の通り了承された。

### 3. 閉会

以上